

CASBEE-建築(新築)2016年版
特別養護老人ホーム巖城はごろも苑建替え工事

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							2.9
Q1 室内環境			0.40		-			3.1	
1 音環境		2.6	0.15	2.6	1.00			2.6	
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	0.40				
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40				
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20				
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20				
2 温熱環境		2.6	0.35	2.6	1.00			2.6	
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50				
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57				
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30				
3 光・視環境		3.5	0.25	2.8	1.00			3.3	
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30				
1 昼光率	<共>昼光率2.5%以上を確保 <病>昼光率1.25%以上を確保	5.0	0.60	5.0	0.60				
2 方位別開口			-		-				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40				
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30				
1 昼光制御	<病>カーテン・庇(バルコニー)を組み合わせている	3.0	1.00	4.0	1.00				
3.3 照度	<共>照度600lx	4.0	0.15	1.0	0.15				
3.4 照明制御		3.0	0.25	1.0	0.25				
4 空気質環境		3.9	0.25	3.8	1.00			3.8	
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63				
1 化学汚染物質	<共・病>全的にF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	4.0	1.00				
4.2 換気		3.0	0.30	3.6	0.38				
1 換気量	<共・病>建築基準法の1.4倍以上の換気量を確保	5.0	0.50	5.0	0.33				
2 自然換気性能	<病室>自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上		-	5.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33				
4.3 運用管理		5.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視			-		-				
2 喫煙の制御	建物内禁煙	5.0	1.00		-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1	
1 機能性		2.9	0.40	3.8	1.00			3.1	
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	5.0	0.60				
1 広さ・収納性	個室10㎡/床以上		-	5.0	1.00				
2 高度情報通信設備対応			-		-				
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化誘導基準を望ましいレベルで満たしている	4.0	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40				
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース			-		-				
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理		3.5	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計	評価する取り組みが8つ	4.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-			3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管にHIVP、排水管にVPを使用	5.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		3.0	0.20		-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-				

3 対応性・更新性			3.3	0.30	3.5	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	4.0	-	0.50
1	階高のゆとり	基準階の階高3.8m	4.0	0.60	4.0	-	0.60
2	空間の形状・自由さ	<共>壁長さ比率0.126、<病>壁長さ比率0.278	4.0	0.40	4.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	0.20		-	5.0
断熱性能の高い建材を採用							
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化			2.4	0.50		-	2.4
[BEI][BEIm] = 0.92							
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	-
集合住宅の評価						-	-
4.1	モニタリング					-	-
4.2	運用管理体制					-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40		-	-
自動水栓・節水型便器を採用							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60		-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20		-	-
ソーラトン、ピアッツァOXシリーズ、GA-3600シリーズ							
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20		-	-
UL工法を採用、OAフロアの採用							
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	-
1	消火剤		-	-		-	-
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP値の低い断熱材の採用	5.0	0.50		-	-
3	冷媒		3.0	0.50		-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			3.2	0.33		-	3.2
高効率な設備機器を採用し、CO2を削減							
2 地域環境への配慮			3.5	0.33		-	3.5
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25		-	-
燃焼機器を使用していない							
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-
1	騒音		3.0	1.00		-	-
2	振動		-	-		-	-
3	悪臭		-	-		-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	-
2	砂塵の抑制					-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	評価の取組み表の評価ポイントが4ポイント、広告物照明を行っていない	5.0	0.70		-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-